

ひとよし市議会だより

2008 第57号 平成20年7月15日 発行:熊本県人吉市議会/編集:議会報編集委員会

市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.hitoyoshi.kumamoto.jp>
E-mail gikai@city.hitoyoshi.lg.jp



青井阿蘇神社国宝奉祝竹灯ろう

【議会の主な行事】(平成20年4月~6月)

6 月

2日 2日~20日 第2回定例市議会
 2日 全員協議会
 11日 代表者会議
 12日 議会運営委員会
 13日 予算委員会
 16日 総務文教委員会・厚生委員会・
 経済建設委員会
 17日 総務文教委員会・厚生委員会・
 経済建設委員会
 18日 予算委員会
 20日 議会運営委員会・全員協議会
 代表者会議
 26日 議会報編集委員会(6月議会分)
 福岡県苅田町議会視察来入
 滋賀県米原市議会視察来入
 京都府亀岡市議会視察来入
 茨城県常陸太田市議会視察来入

5 月

7日 代表者会議
 13日 佐賀県伊万里市議会視察来入
 14日 愛知県知多市議会視察来入
 14日 全員協議会
 15日 福岡県みやま市議会視察来入
 19日 兵庫県赤穂市議会視察来入
 22日 九州治水期成同盟連合会定期総会
 26日 議会運営委員会
 27日 熊本県市議会議長会
 全国温泉所在都市議会議長協議
 会総会
 九州市議会議長会第2回理事會
 28日 全国市議会議長会定期総会
 30日 代表者会議

4 月

2日 議会報編集委員会(3月議会分)
 代表者会議
 3日 熊本県市議会議長会
 9日 全員協議会
 10日 議会報編集委員会(3月議会分)
 17日 埼玉県川口市議会視察来入
 24日 九州市議会議長会定期総会

総務文教委員会報告

●委員長 福屋法晴 ●副委員長 田中 哲
●委員 松岡隼人・川野精一・本村令斗・下田代勝・篁毛正勝

総務文教委員会に付託されました案件は、議第 55 号が賛成多数、ほかの案件は全会一致で承認されました。

議第 55 号人吉市税条例の一部を改正する条例は、地方税法等の一部を改正する法律が、公布・施行されたことに伴い関係条例の一部を改正するものです。個人住民税の寄附金税制の拡充、省エネ改修に対する固定資産税の減額措置の創設等が改正内容となっています。

議第 56 号人吉市都市計画税条例の一部を改正する条例は、地方税法の固定資産税に関する改正がなされ、それに追隨して改正するものです。

議第 60 号人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例は、懲戒処分とした職員の在職中の新たな非違行為が発覚したことに伴い、市に対する市民の信頼を繰り返し損なう結果となったことに対し市長・副市長及び収入役の 7 月分の給料を市長は 1/10、副市長及び収入役は 1/20 減額するものです。

議第 61 号人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例は、損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令が公布・施行され、扶養手当が月額 200 円から 217 円に引き上げられることに伴い市条例も改正するものです。

議第 53 号平成 19 年度一般会計補正予算（第 7 号）の歳出の主なものは、新市町村振興宝くじの収益金 642 万 4 千円が交付されたことにより犬童球溪顕彰音楽祭及び人吉球磨総合美展の経費財源に充てるものです。また

予備費を 3609 万 4 千円減額補正するものです。

議第 58 号平成 20 年度一般会計補正予算（第 1 号）の補正の主なものは、債務負担行為（課税支援システムを新しくするもので期間を 6 年間、限度額を 1017 万 5 千円と定める）のほか、総務費に昨年引き続き開催する校区别タウンミーティングの経費や自主防災組織の機能強化のための防水ハンドマイク（全町内へ貸与）購入費。また教育費には、全小中学校を対象とした学校評価の充実・改善のための実践研究事業費、二中校区を対象とした地域の教育力向上のための学校支援地域本部事業費、人吉西小学校の熊本県「生きる力」を育む研究校の指定に伴う視察旅費などが補正の主なものです。

陳第 12 号は、過去に人吉市が「核兵器廃絶・平和都市宣言」をしており全会一致で採択しました。



国宝「青井阿蘇神社」を視察する総務文教委員会

厚生委員会報告

●委員長 三倉美千子 ●副委員長 笹山欣悟
●委員 豊永貞夫・西信八郎・仲村勝治・大王英二

厚生委員会に付託されました議案の主なものにつきまして、審査の結果を報告いたします。

〔専決処分案件及び条例案件 6 件〕①国民健康保険税条例の一部改正については、地方税法等の一部改正 4 月 30 日に公布・施行されたことに伴うもので、医療給付費分の限度額 56 万円を 47 万円に引き下げ、後期高齢者支援金分の課税限度額 12 万円を新たに追加設定するものです。また、世帯別平等割額の特定世帯の軽減期間について 5 年と明確に定めるものであります。②非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正については、これまでの「人吉市ごみ減量隊」から地球温暖化防止対策活動の推進など市の環境行政に参加する目的で、名称を「人吉市地球の環（わ）をまもり隊」と変更し、再発足したことによるものです。③手数料条例の一部改正については、戸籍法の一部改正により所要の改正をするもので、戸籍法での誰でも戸籍謄本等の交付申請ができるという従来の戸籍の原則を改め、第三者が交付申請できる場合を制限する法的措置がされたものです。④重度心身障害者医療助成に関する条例の一部改正については、これまでの助成対象に、柔道整復師等の施術に係る療養費が新しく加えられたことに伴うものです。

〔案件議案 3 件〕委託に関する協定の締結については、供用開始以来 26 年が経過している「人吉浄水苑」の機械電気設備取替工事について、日本下水道事業団と 3 億

9,240 万円で委託協定を締結するものであり、協定方法は随意契約によるもので、平成 20 年度、21 年度の 2 ヶ年にわたる工事委託の協定となります。

〔予算案件 2 件〕①一般会計補正予算の民生費 209 万の増額は、7 月からすべての後期高齢者医療制度加入者約 5,700 名を対象に鍼灸マッサージ券を交付するための経費、また、衛生費 30 万円の増額は、木地屋町第 3 班の飲料水供給施設改修整備に対する補助金が計上されております。②老人保健医療特別会計補正予算 5,756 万 2 千円の増額は、平成 19 年度の精算に伴う補正でございます。

以上、慎重審査の結果、いずれも全会一致で原案どおり認めることとしました。

そのほか、陳情案件につきましては、1 件を採択、2 件を慎重に審査するため継続審査としました。



認知症対応型通所介護施設を視察する厚生委員会

経済建設委員会報告

●委員長 立山勝徳 ●副委員長 永山芳宏
●委員 井上光浩・村上恵一・松田 茂・森口勝之・山下幸一

経済建設委員会で審査した議案について報告いたします。

◎平成 19 年度の補正予算で専決処分として施行されたものは次の通りです。8 款土木費の中の街路事業費は、トータルで 45 万 1 千円を減額して総額 3 億 5,691 万 9 千円となりますが、その内訳は、大橋の添架物工事委託料を 276 万 8 千円増額しています。それは、昨年 12 月、大橋の通行を人だけでも出来るだけ早く通れるようにするために、橋の両端に警備員を配置した人件費や、必要な装備などの経費であります。また複写機使用料の減額が 74 万 2 千円、紺屋町南町線外 1 線の道路改良工事費が 227 万 7 千円減額されています。河川改修費で 10 万円の増額は、県営事業の負担金であります。

◎平成 20 年度の補正予算は、農林水産業費に 455 万 6 千円を増額し、総額を 3 億 9,159 万 4 千円とするものです。この増額補正で行う主な事業は、都市農村移住交流受入れシステム構築委託料 184 万 8 千円、これは都市と農村の交流を図り或いは移住などを促進するために市全体としての受け入れ体制をどう整えたらよいかについて、専門家に委託するものであります。また非主食用米緊急生産実証モデル事業補助金 100 万円は、主食以外に活用される米の生産、流通、活用などの課題について検証するため、J A くまに補助するものであります。畜産関係で、自給飼料増産総合対策推進事業補助金として 135 万 9 千円が計上されていますが、これは市内 11 戸の畜産農家で

組織する人吉市放牧の会に補助するものであります。農地費の中で、川辺川総合土地改良区に対する補助金 19 万 6 千円は、国営利水事業が休止になり事業組合職員が削減されたことと、農政局川辺川農業水利事業所が撤退したため、造成施設や、暫定水源施設の維持管理が、土地改良区に一時委託されたことにより嘱託職員 1 名を雇用する人件費と、施設の管理費用が必要になり補助金を増額するものであります。議第 68 号損害の賠償は、市の公用車が、右折しようとして右前輪を脱輪したため、道路にもどそうとバックした際、後方の民家の門扉に衝突し損害を与えたので、相手方と協議のうえ、12 万 9 千円の賠償金を市が加入している保険から支弁して和解するものであります。なお公用車の損傷修理費は、20 万 7,228 円であります。以上概略を報告いたします。



球泉洞トンネルを視察する経済建設委員会

予算委員会

●委員長 森口勝之 ●副委員長 村上恵一
●委員 全議員

予算委員会に付託をされた『議第 53 号専決処分の承認を求めることについて（平成 19 年度一般会計補正予算第 7 号）』のうち、「第 1 条歳入予算の補正（全款）及び第 3 条地方債の補正」、並びに『議第 58 号平成 20 年度一般会計補正予算（第 1 号）』のうち、「第 1 条歳入予算の補正（全款）」について審査結果を報告します。

まず『議第 53 号』は、地方譲与税及び特別交付税などの交付決定によるもののほか、地方債の確定に伴う変更などを地方自治法第 179 条に基づき、平成 20 年 3 月 28 日に専決処分したものであります。主なものは、自

動車重量譲与税 359 万円の増、地方交付税 1,416 万 7 千円の増などで、総額 1,959 万 3 千円を追加するものであり、いずれも最終確定に伴う補正であります。

次に『議第 58 号』は、福祉生活部関係で平成 19 年度精算による、老人保健医療特別会計繰入金 5,699 万 6 千円の増以外は、全てが国、県の補助事業の内示及び交付決定などによるもので、総額 6,835 万 1 千円を追加するものであります。

いずれの議案とも、全議員による審査の結果、全会一致で可決承認いたしました。

議会運営委員会

●委員長 永山芳宏 ●副委員長 本村令斗
●委員 松岡隼人・福屋法晴・森口勝之・三倉美千子・下田代勝・立山勝徳

6 月定例会の開催にあたっては、採択閉会まで 4 回の議会運営委員会を開き①提出議案について、陳情について、会期日程について、議案質疑及び一般質問の取扱いについて、②陳情について、委員会付託について、閉会中の継続審査について、③農業委員会委員の推薦について、

④意見書案について審議いたしました。

今議会も 14 名の議員が、一問一答制の一般質問で、市長、副市長、教育長、各部長と白熱した議論を展開しました。

一

般

質

問

鳥獣被害対策、市道
矢黒下戸越線

田中 哲

問 鳥獣による被害と「鳥獣被害防止特措法」の具体的措置は。

答 十九年度のサル被害額二五八万円で捕獲数二頭。イノシシの被害額一五一三万円で捕獲数二三頭。シカの被害額が二四四一万円で捕獲数が二四〇頭。球磨川水系に生息するようになったカワウの被害額は一六八〇万円で対策として銃器による捕獲を実施。なお電牧等への補助金申請数は三件。今回の特措法の具体的措置として、捕獲許可の市町村への権限委譲。交付税、補助事業支援等財政支援。鳥獣被害対策実施隊を設立等で、今後、人吉市の被害防止計画の策定は農林業の皆さんや関係機関と協議を行う。

問 市道矢黒下戸越線（黒坂）の危険箇所、及び交差点改良は。答 危険箇所は調査し、現状を確認している。道路改良は、通行の安全を確保したい。交通事故対策は、見通しの悪いカーブ、

狭い部分は離合箇所の設置等の局部改良の対応を勘案している。交差点の車センサー付き信号機は警察署と協議していく。

古木、名木の活用、
学校林の存続は！

仲村 勝治

問 ふれあいの木運動の目的と選定した樹木の本数は。

答 森林の重要性に関する市民の認識の高揚を目的とし、歴史的にいわれのある木一〇〇本を選定。ネームプレートを設置した。問 城内及びその周辺の古木にはいわれがある。小冊子を作り、観光、生涯学習、小中学生の総合学習等に利用できないか。答 観光資源を紹介した冊子は必要である。作成については、関係団体、関係部署と協議して参りたい。

問 学校林条例では、森林資源の培養、保全及び愛林思想を涵養するために設置されており、造林及び保育管理は、教育の一環とあるが、現在の保育管理の状

況は。答 学校林は、学校建設の資金、資材の育成が役割であった。二十年間は保育管理を実施、その後、事故防止、授業時間数等により活用していない。

問 学校林の処分益を積み立て、活用する基金を創設する考えは。答 歴史的な背景、地域の方々、

学校長の意見など関係部署と協議し、趣旨を十分に検討する。

SL運行開始への対応と
国宝の防火

川野 精一

問 SL運行時の市の対応は。運行予定が夏から春へ早まるとの情報もあるが。

答 SL早期運行の打診はまだない。ハード整備にはまだ時間がかかるが、おもてなしなどのソフト事業を推進していく。

問 国宝元年の青井神社への支援は。防火とまつりについて。答 防火対策の強化を文化財関係

国庫補助を活用し、文化庁・県教育委員会へ働きかけていきたい。おくんちまつりについては、郡市一体となった盛大な祭事となるよう検討を行いたい。

問 三月の老人福祉センター温泉源の水中ポンプ落下事故を受

け、市の温泉源の管理状況は。答 耐食性のステンレス管導入の情報、市役所内で共有できなかった。現在、市の全温泉でステンレス管を使用しているが、

老人福祉センター温泉井戸には、腐食で落下した水中ポンプが残されていて、回収には多額の費用を要する。現状で使用可能。

※その他、温泉特区構想の進捗状況と、街路樹と歩道の整備計画について質問をしました。

地球温暖化対策について

豊永 貞夫

問 人吉市で実施している、第二次地球温暖化対策実行計画で、平成十六年度比で十八年度は

二二％削減できている要因は。答 温室効果ガスの九割を占める二酸化炭素排出の主原因である電気使用を、削減のため各部署で積極的に取り組んだ結果であると考える。

問 各学校で南側の教室の室温を下げる取り組みとして、つる性植物のアサガオ、ニガウリ等をネットを張って「緑のカーテン」を実施すれば、教材としても利用でき、室温を下げる効果があると思うが、実施する考えは。

答 現在公用車は百六台。燃料使用量はガソリン、軽油ともに減少している。市長公用車を廃止し、共通の公用車を購入したい。今後も集中管理は続ける。

学校給食調理業務の
民間委託の効果は？

笹山 欣悟

問 学校給食調理業務を委託して一年が経過したがその効果は。

答 人件費で、平成十五年比で約四千六百万円、平成十八年度比で約千万円の削減となった。調理作業は、委託前と同じ班編成、調理工程で行ってきたが、委託前より約一時間前に現場に入ることで余裕を持った調理工程を組むことができた。地場産品の利用率も上がってきており

民間のノウハウを生かし様々なことに対応することができた。残菜量の比較については、主食が前年度比六八％減、大おかず七二％減、小おかず五六・五％

減と少なくなっており、各学校の給食に対する取組みによる成果と給食が美味しくなったことも一因と考えられる。

※その他、第三次行政改革大綱への総括と第四次行革大綱への反映、情報公開条例の適正な運用と文書管理、肥薩線開通百周年事業とSL運行、市民の声から高速インターチェンジバス停留所付近にトイレの設置について質問しました。

農業課題、教育充実、地域資源について

下田代 勝

中山間地農業振興、地域教育力向上、国宝青井神社周辺整備、東小通学路整備等を質しました。

問 農業特区の展開は。中山間地振興の作物は、そして販売は。
答 特区は、農家と協議研究する。作物は、超多収米、耐暑性野菜を導入。産品の出荷販売は、市場調査を行う。

問 学校支援地域本部事業は、二中校区対象であるが全校区取組みは。英語教育は、小学校三年生から必修化、国のこの動きに先駆けて、小学校一年生から必修化する考えは。小中一貫教育に取組む考えは。

答 学校地域支援本部事業の他校

区については検討を進める。

英語教育は、現ALT制度の充実をはかり、先進例をも勉強する。小中一貫教育は、一部では交換事業等も行っており、可能な限り連携促進をはかる。

問 国宝青井神社の周辺整備は。
答 人吉駅を含め、総合的・一体的な整備をはかる。

問 東小通学路、横断歩道、曼陀羅川の整備は。
答 早急に改善調査、協議を行う。

川辺川ダム反対し清流を守る観光のまちを

本村 令斗

問 川辺川ダムに対する意見を聞く公聴会では、賛成意見はわずかで、反対意見は活発に出された。市民の民意は、ダム反対であることを受け止めるべき。

答 私は中立の立場。参加者数意見内容を精査中。考えがまとまるまで時間が必要。

問 ラフティングで有名なニセコ町は、河川環境の保全に関する条例を制定している。隣町の蘭越町では、町とNPO法人が主催して、川の清掃活動が行われている。観光振興のためにも、ダムに反対し、清流を守るまちづくりを進めるべき。

答 市民の清掃活動を支援したい。

問 観光客に人吉で宿泊してもらうため、SL運行にあわせ、旬の野菜が旅館などで食べられる収穫祭を、探求してはどうか。

答 食の楽しみを提供したい。

問 青井神社が国宝に指定され、市民が文化財の魅力について語れるなら、多くの方が人吉を訪れるきっかけになる。学習会や出前講座などを行うべき。

答 学習会は必要に応じて、出前講座は要望に応じて行いたい。

大型店出店、交通渋滞を回避できるのか

村上 恵一

問 宝来町の木材市場跡地に出店予定の大型商業施設の地元説明会が五月十五日に行われたが、出席者の状況は。またどのような質問、意見があったか。

答 朝昼晩で三回行われたが、合計八十九人の出席だった。また意見としては、「村山宝来線は通学路であり、事故が起こらないか心配」や「国道四四五号線が相当渋滞するのではない心配」「雨水の処理はちゃんとしてくるのか」などがあった。

問 周辺三町内の八百世帯数と比較して出席者数が少ない。説明会がその役割を果たしたのか疑問である。また、店舗面積と比較して駐車台数が少なすぎる。開店時はもとより、慢性的に渋滞することと思う。周辺住民にもっと知らせるべき。そして、意見集約も地元を運んで漏れのないように。国道四四五号の拡幅も県に要望すべき。とにかく禍根を残さないように。

答 地域住民の意見を集約しながら、道路管理者の県や警察と協議を重ねて渋滞解消に向けて努力していきたい。

人吉観光と地域活性化策について

松田 茂

問 人吉お城まつりについて、入場者実数とまつり実行委員会の自己評価、反省点について。

答 五月三日、四日の両日とも天候にも恵まれ昨年を上回る合計二万三千五百名の来場者があった。成功に終わったと思うが、さらなる検証をして、すばらしいまつりを作り上げていきたい。また前夜祭等の充実にも取り組みたい。

問 国宝青井阿蘇神社の周辺開発と戦略プロジェクトについて。

答 国宝青井阿蘇神社については、基本計画及び実施計画を策定し、まちづくりの核として、周辺整備をはじめ多くの誘客

を図り、感動できる観光文化の拠点として管理活用していきたい。これに伴う各戦略プロジェクトについては、企画課を中心に課題や連携、調整を図って部長会がその内容や進捗について把握できるシステムの構築を検討したい。

※その他、くま川下り株式会社との運営についても質問をいたしました。

不在者投票の見直し・CPの改善、他

三倉 美千子

問 在宅療養者・障害者の投票は郵便による不在者投票などの現行の制度では厳しくて利用できない方が多い。以前「自治体独自の投票を取り入れることは法的に許されていないので、いろんな機会に市民の要望を県や国に伝えて投票の改善を図ってほしい」と答弁されたが、その後の様な働きかけをされたか。

答 市単独では行っていないが、全国市区選挙管理委員会連合会で要望として検討しており、国も認識していると思う。

問 カルチャーパレスを車で利用する高齢者が多い。障害者と同様の屋根つき待合所を、また正

面階段に手すりの設置をお願いしたい。

答 高齢化が進む中、安心して利用いただく配慮が必要と考えるので、関係機関等と協議していきたい。

問 市民の命を守るために市職員全員が A E D 講習受講を。

答 救命思想の普及、啓発のために市民の模範になるよう、全職員を対象に、今年度以降、段階的に研修を実施していきたい。

青井さんの整備と市町村合併について

松岡 隼人

問 国宝青井阿蘇神社を今後、どのように整備していくのか。

答 学識経験者による策定委員会を組織し、「保存活用計画」を人吉市教育委員会で作成。作成後、「保存活用計画」に基づいて、事業を展開していく。

問 まちづくりの観点から、青井阿蘇神社をどう活用していくのか。

答 周辺整備などで神社そのものの魅力を高めるとともに、駅舎、中心商店街、人吉城跡との動線をおかして結ぶかが重要だ。

問 市長が考える人吉球磨のあり方は。

答 人吉球磨の伝統文化の共通性

や生活圏域の一体性、より広域的なまちづくりを目指す観点から、将来的には人吉球磨地域が一体での合併が必要。

問 将来への責任として、人吉球磨の今後について議論をするべきだと思うが。

答 議論をすべき。しかし、現在のところ合併に向けた周辺町村の具体的な動き、機運は見られず、各町村の中では喫緊の課題とは捉えられていないようだ。

大畑産業廃棄物最終処分場の現況は

西 信八郎

問 大畑産業廃棄物最終処分場において、異臭が発生したとのことだが、その経過と異臭の安全性は。また今後の対応は。

答 今年二月に大畑小学校長から連絡があったのが最初で、人吉保健所に連絡し、三月に監視委員会を開いた後、保健所と立ち入り調査、パトロールを実施してきたが、特に異常は確認していない。四月に会社から報告書が提出され、その内容によると、異臭発生箇所と推測される場所で硫化水素やアンモニアなど十六物質の発生が推測されることだった。敷地境界における悪臭防止法に定める二十二物

質のうち規制基準値を超えるものはなかった。これからは、会社側が対策を実行するよう指導監督し、保健所と連絡を取り定期的な合同パトロール、立ち入り調査をしていく。

※この他に、①力強い子供の成長を支える教育活動としての子ども農山漁村交流プロジェクト ②学校における緊急地震速報の利活用と対応マニュアルについて質問をしました。

川辺川ダム建設問題について

立山 勝徳

川辺川ダム建設計画が発表されて四十二年、建設の是非をめぐって揺れ動いて来ました。建設目的から利水と発電が撤退し計画の見直しは必至と思われま。田中市長は市民公聴会などを経て八月に賛否を表明することであり、現時点での市長の考えを質しました。

問 民意把握のため住民投票は。

答 かつて賛成の署名をしたが、市長としては、賛成、反対で市民が割れるのでやる気はない。

問 森林の保水力、緑のダムは。

答 保水力はあるが、異常降雨ではスポンジ現象もある。総合的に勘案して一定の考えを示す。

問 基本高水流量七千トンには。より安全性が担保されるのと一昨年川内川が七千八百トン流れたことにかんがみ妥当と思う。

※他に、ダム建設による流域への影響、◎観光への影響、◎活断層や周辺の地層、地質、◎建設事業費と経済効果、◎河川整備計画への住民参加、◎ダム代替案、◎水害体験者の主張、などについて市長の考えと私の意見を述べました。また、農林水産業の鳥獣被害対策について現状と対策を質しました。

ダム問題・焼酎戦略・環境問題について

森口 勝之

問 ここ数年来川辺川上流域の山林の荒れに伴う河川内への土砂堆積が異常であり、洪水の危険性が高まっている。ダムに対する賛否判断の前に、市長自ら現地調査をすべきではないか。

答 七月中には上流域の河川状況をつぶさに視察する予定だ。

問 集約された公聴会の結果は賛否判断にどう反映させるのか。

答 賛否相方出席の多寡、意見の多寡をもって判断は下さない。

問 ダムに代わる案として、堤防

う考え方もあるが、この案は堤防敷の拡張に伴う大掛かりな家屋移転や護岸工事、また兩岸から流入する山田川、胸川、万江川への対応、或いは温泉への影響等々市のあり方そのものに関わってくるのではないかと市長の意見は。

答 河床掘削は、水生動植物に多大な影響を与えるのではないかと。また、中心市街地の堤防に対する影響も考えていかねばならず、今後見解を述べる。※その他、球磨焼酎支援に関するイメージ戦略のあり方、環境問題に対する市の取り組みについて質問。



平成 19 年度政務調査費収支報告書を掲載しました

氏 名	収 入	支 出								合 計
		研 究 研修費	調 査 旅 費	資 料 作成費	資 料 購入費	広 報 費	広 聴 費	人 件 費	事 務 所 費	
松岡 隼人	220,000	13,139	62,580	22,000	21,117	111,650	2,500	-	-	232,986
井上 光浩	220,000	6,950	152,605	26,200	10,500	5,635	-	-	20,991	222,881
豊永 貞夫	220,000	5,000	127,986	60,813	31,185	-	-	-	-	224,984
笹山 欣悟	240,000	56,500	65,407	-	56,590	73,529	-	-	28,026	280,052
村上 恵一	220,000	-	156,709	65,850	9,990	-	-	-	-	232,549
西 信八郎	220,000	10,139	62,580	209,475	57,326	-	-	-	-	339,520
松田 茂	220,000	16,000	116,120	-	13,945	30,000	-	50,000	2,500	228,565
永山 芳宏	240,000	11,785	168,545	-	60,675	875	-	-	-	241,880
福屋 法晴	240,000	14,985	185,815	-	42,770	875	-	-	25,200	269,645
森口 勝之	240,000	5,000	152,605	940	8,200	-	-	-	101,512	268,257
田中 哲	240,000	-	145,597	58,387	38,232	-	-	-	-	242,216
本村 令斗	220,000	-	64,940	1,931	58,877	77,729	-	-	120,000	323,477
立山 勝徳	220,000	45,940	65,406	4,503	56,400	60,430	-	-	22,000	254,679
仲村 勝治	220,000	96,685	80,200	1,885	46,095	10,050	-	-	10,340	245,255
三倉美千子	240,000	78,290	152,605	18,302	39,990	-	-	-	-	289,187
山下 幸一	220,000	-	145,596	-	87,030	-	-	-	-	232,626
下田代 勝	220,000	-	198,344	-	35,500	-	-	-	8,170	242,014
簗毛 正勝	220,000	9,000	240,315	-	50,750	-	-	-	-	300,065
大王 英二	220,000	-	179,600	-	42,840	-	-	-	-	222,440
	4,300,000	369,413	2,523,555	470,286	768,012	370,773	2,500	50,000	338,739	4,893,278

政務調査費とは・・・議員の調査研究に必要な経費の一部として地方自治法で交付が認められているものです。

注) 現職の議員で政務調査費の交付を受けた議員を掲載

- ・政務調査費の交付額は月額 2 万円（平成 19 年 3 月までは月額 3 万円）。
- ・平成 19 年 4 月に改選があり、新たに当選した議員は 5 月分からが交付対象となり、また、前期から引き続きの議員で 4 月分の交付を申請していない議員もあるため、交付額は同一ではありません。
- ・支出額が収入額を上回っても交付額の増額はありません。支出額が収入額を下回った場合は残余を全額返還しなければなりません。
- ・収支報告書には金額の多寡に関わらず領収書の写しを添えて提出することと定めています。

6 月定例会において次の意見書を可決し、内閣総理大臣及び衆・参両議院議長など関係機関へ提出しました。

- ◆「非核日本宣言」を求める意見書
- ◆原爆症認定制度の抜本的改善を求める意見書
- ◆森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書



6 月定例会における議案等の審議結果

[議案]

番 号	件 名	議決結果
議第53号	専決処分の承認を求めることについて〈平成19年度人吉市一般会計補正予算〉(第7号)	原案承認
議第54号	専決処分の承認を求めることについて〈平成19年度人吉市老人保健医療特別会計補正予算〉(第3号)	原案承認
議第55号	専決処分の承認を求めることについて〈人吉市税条例の一部を改正する条例〉	原案承認
議第56号	専決処分の承認を求めることについて〈人吉市都市計画税条例の一部を改正する条例〉	原案承認
議第57号	専決処分の承認を求めることについて〈人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例〉	原案承認
議第58号	平成20年度人吉市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議第59号	平成20年度人吉市老人保健医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第60号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第61号	人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第62号	人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第63号	人吉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第64号	人吉市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第65号	熊本県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について	原案可決
議第66号	委託に関する協定の締結について	原案可決
議第67号	損害の賠償について	原案可決
議第68号	損害の賠償について	原案可決

請 願 ・ 陳 情 等 の 審 査 結 果 に つ い て		
委 員 会	請 願 ・ 陳 情 等 の 内 容	審 査 結 果
総務文教委員会	公民館改修に伴う大塚小学校林の収益金の活用についての陳情	継 続 審 査
	「非核日本宣言」を求める意見書採択についての陳情	採 択
厚生委員会	一般廃棄物収集運搬業務に関する調査を求める陳情	継 続 審 査
	「後期高齢者医療制度の凍結と全面見直しを求める意見書」の提出を求める陳情	撤 回
	原療症認定制度の抜本的改善を求める意見書採択についての陳情	採 択
	後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書の提出に関する陳情	継 続 審 査
経済建設委員会	「最低賃金の大幅引き上げと全国一律最賃制の法制化、およびそれを支える適切な中小企業振興策を求める意見書」を国に対して上げていただくことを求める陳情	継 続 審 査
	市道漆田下田代線拡張改修についての陳情	継 続 審 査

次の定例会は九月です。

- 【議会報編集委員会】
 委員長／大王英二
 副委員長／簗毛正勝
 委員／井上光浩 豊永貞夫
 松田 茂 田中 哲
 三倉美千子 下田代勝

梅雨のまつ只中「岩手・宮城内陸地震」の発生、片や人を簡単に殺す事件が続くなど、天災人災、何が起きるか不安な世の中になっております。

人吉では、過日球磨川の増水に伴う避難勧告が発令され、郡部では死亡事故が発生するなど、改めて日頃からの防災対策の必要性を感じました。

さて、二日に開会しました六月議会は、十六議案を審議、一般質問に十四人が登壇、執行部の考えを質し二十日に閉会しました。

地元の皆さまが、首を長くして待たれている球磨川架橋の名前が「紅取橋」と決定しました。開通予定は平成二十一年春。気象条件等で開通が大幅に遅れることがないように祈りたいものです。

まだまだ梅雨空が広がっておりますが、この議会だよりが皆さまのお手元に届くころには、梅雨も終わり、素晴らしい夏空が広がっていることを期待しています。

(文責…三倉美千子)

編 集 後 記